

論点案

令和3年3月17日17:15～18:15
成長戦略会議（第8回）提出資料の関係部分

スタートアップの誕生・規模拡大の環境整備

- 我が国では、スタートアップの数は依然として低い水準にとどまっており、かつ、成長するスタートアップは極めて少ない。スタートアップの創出・成長発展のための環境整備は、どうあるべきか。
- 我が国は、未上場のスタートアップに対する資金提供手段が不十分。諸外国では、創業まもない未上場の企業に対してもSPAC(Special Purpose Acquisition Company。非上場企業の買収を目的として上場した特別目的会社が他社を買収することで上場を実現する方式)という形態を使って、短期間のうちに上場し、資金調達を行う方法が拡大している。我が国においても、SPACによる上場方法を検討すべきではないか。
- また、我が国の資本市場は、未上場の企業への投資について、個人投資家による投資手段が限定され、VC以外の投資家の裾野が狭く、セカンダリー取引も小規模なものとなっている。未上場のスタートアップへのリスクマネーの流れを太くする観点から、特定投資家の範囲の拡大の検討など、諸制度の整備を検討すべきではないか。
- 我が国のIPOにおいては、上場時に起業家が株を売り出す価格(公開価格)が上場後の株価を大きく下回る状況にあり、IPOを行っても起業家の資金調達が小さくなる傾向があり、上場のインセンティブを歪めているという課題があるのではないか。健全な起業家精神の発揮を後押しすべく、公開価格の決定方法の見直しといった対応を検討する必要があるのではないか。
- 我が国はスタートアップに取り組む人材が不足しており、そのための人材育成や、起業に向けた風土・風潮の形成が重要課題。挑戦する人材、異端児を増やすため、教育のあり方が重要との指摘がある。このような観点から、人材育成システムや起業家教育のあり方について検討すべきではないか。
- また、アジアの企業と共同プロジェクトを行うアジアDX構想のように、大企業がスタートアップ企業に対して人材や資金の支援をリスクを取って行うエコシステムの構築を産業界とともに進めるべきではないか。